



◎活動状況

- ・「消費者のための有機栽培見学ツアー in いわき」開催
- ・平成20年度第1回いわき地方農林漁業原油価格等高騰対策会議開催

◎トピックス

- ・森林環境セミナー テーマ「地球温暖化と森林管理」開催
- ・小久地区営農改善組合設立
- ・第18回ふくしま農見本市開催

活動状況

○「消費者のための有機栽培見学ツアー in いわき」を開催しました

8月9日（土）、「消費者のための有機栽培見学ツアー in いわき」を開催しました。

このツアーは、有機農産物生産者と消費者の絆をつくり、消費者の理解を深めることを目的に毎年実施しており、今年で4回目となりました。

今年は、消費者34名が参加し、有機栽培を行っている、阿部拓氏（平下神谷）のピーマン、鈴木義直氏（平下平窪）の水稻、農薬不使用栽培を行っている大和田雅夫氏（好間町）のブルーベリーを見学し、各生産者のお話を伺いました。



生産者の話を熱心に聞く参加者と、有機農産物等

○平成20年度第1回いわき地方農林漁業原油価格等高騰対策会議を開催しました

8月22日（金）、県いわき合同庁舎において、平成20年度第1回いわき地方農林漁業原油価格等高騰対策会議を開催しました。

本会議は、昨年から続く原油、肥料、飼料等の価格高騰状況を踏まえ、いわき地方における農林業の関係団体及び国、県、市が、現在の動向や今後の対策を講じる上で情報を共有し、意見交換を行うため開催したものです。

各団体からは、できる限りの対応はしているが、現状はかなり逼迫してきている等の説明がありました。

また、燃料や農業用資材の価格上昇などにより施設園芸農家の経営に大きな影響が出てきているとの声も聞かれました。

原油価格の推移については、最高値をつけた本年7月に比べ下落してきてはいますが、今後とも予断を許さない状況が続くものと思われます。県としては、今後とも原油等の価格動向及びその影響を引き続き注視しながら、状況変化に応じて、適切な対応に関係団体とともに図ってまいりたいと考えております。

トピックス

○森林環境セミナー テーマ「地球温暖化と森林管理」が開催されました

8月19日(火)、日本林業技士会福島県支部主催による森林環境セミナーが、いわきワシントンホテル椿山荘において開催されました。会場には、林業関係者ら約60名が詰めかけました。

講師は森林環境の第一人者である藤森隆郎先生で、講演では「持続可能な森林の管理は、森林を生産林(木材生産)と環境林(水土保全、生物多様性の保全等)、その中間の生活林の三つの目標林型に設定し、それに応じた森林管理を進めることが基本であり、多面的な機能を効果的に発揮する。」とのお話があり、参加者らは熱心に聴講していました。



○小久地区営農改善組合が設立されました

8月30日(土)、小久集会所で、小久地区営農改善組合設立総会が開催され、発起人を含めた地区の農業者22名と関係機関が出席し、農事組合員80名のうち、69名の同意(委任状を含む)により、小久地区営農改善組合が設立されました。

組合長に選出された飯島香織氏は、「小久地区の農地の利用について、みんなで話し合う場として、組合を活かしていきたい。水稲以外の作物も作って、小久地区の農業を振興していきたい。」と抱負を語りました。

その後、収穫感謝祭の実施や、カボチャや黒大豆の作付を検討することが決められました。今後、小久地区の農用地の有効活用や、担い手の育成に、同改善組合の活躍が期待されます。



○第18回ふくしま農見本市が開催されました

8月30日(土)、いわき市小名浜のアクアマリンパークで、第18回ふくしま農見本市が開催されました。

県内各地の農業青年クラブが直売活動等を通じて、活動内容をPRするとともに、消費者と交流しました。いわき農業青年クラブの直売では、ナメコ、ネギ、ナス、シシトウ等が人気を集め、いわき市農林水産部のナシの販売や、イチゴかき氷の配布も好評でした。

今回が初めてのアクアマリンパークでの開催でしたが、例年以上の来場者に青年クラブ員たちは、確かな手応えを感じていました。



直売が好評

[[▲Top](#) | [福島県トップページ](#) | [いわき農林トップページ](#)]